



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境点検制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ペアガラス、潜熱回収型ガス瞬間式給湯器、節湯型水栓などを採用した、エコ住宅をコンセプトとしています。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 24H換気システムを採用し、シックハウス対策をしました。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 天井高を2.50mと居住スペースにゆとりをもたせました。	注) 「Q3 室外環境（敷地内）」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 町並みに調和するように外壁等の素材、色を決定しました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 潜熱回収型ガス瞬間式給湯器を採用し、熱効率の良いものとししました。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節湯型水栓を採用している。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 自転車置場を多く確保しました。

1/2

重点項目スコア・結果シート

(仮称)カルティア庄内通

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.3
LR1	エネルギー	3.5	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.5	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				2.6
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.3



2. 自然共生

評価点 = 1.3



3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。